

フロントスポイラー 取付要領書

設定型式:N#P17#G 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー-N200を本品に添付)

重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

重要 ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。

■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。

■両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。


■ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。

重要 ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa (5kgf/cm²以上)

重要 ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

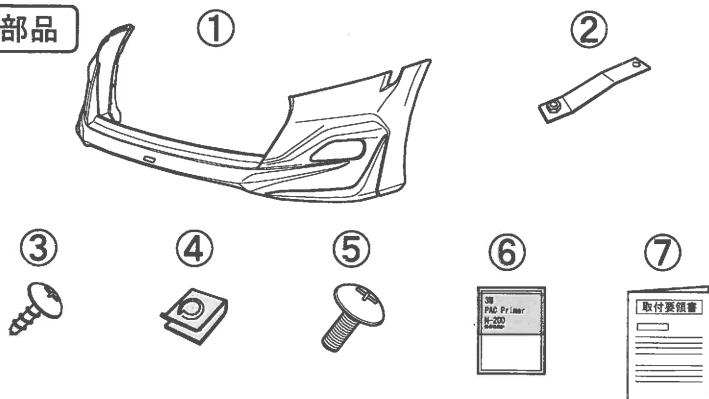
- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

 アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

シエンタ モデルスタバージョン

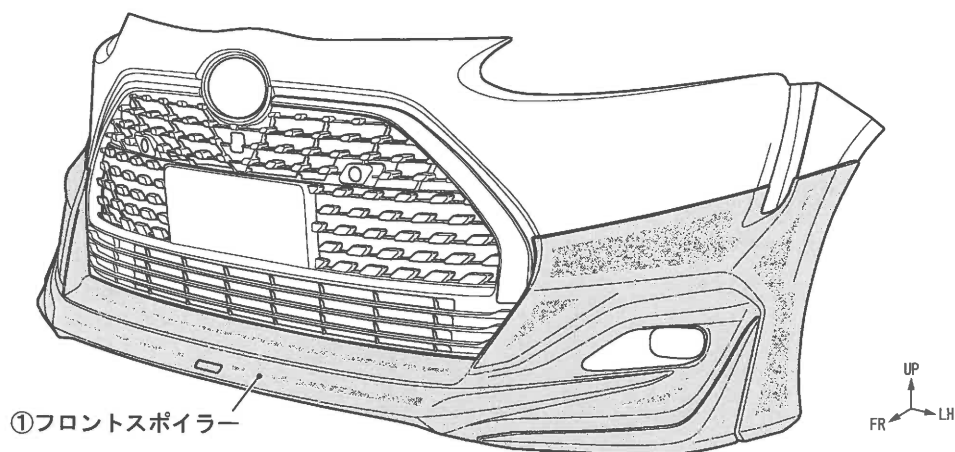
フロントスポイラー (品番 : D2531-59010-XX)

構成部品



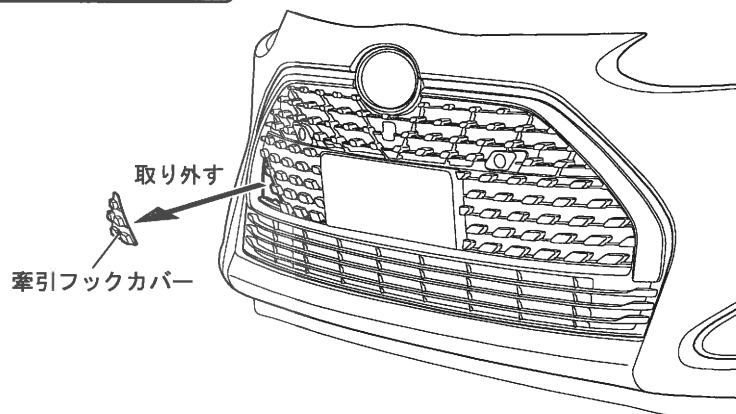
No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	ブラケット (M50)	2
③	タッピングスクリュー (M4×12)	6
④	Uナット (M4)	6
⑤	トラスボルト (M6×12)	2
⑥	PACプライマー-N200	1
⑦	取付要領書	1

取付概要



取付手順

(1) 部品の取り外し



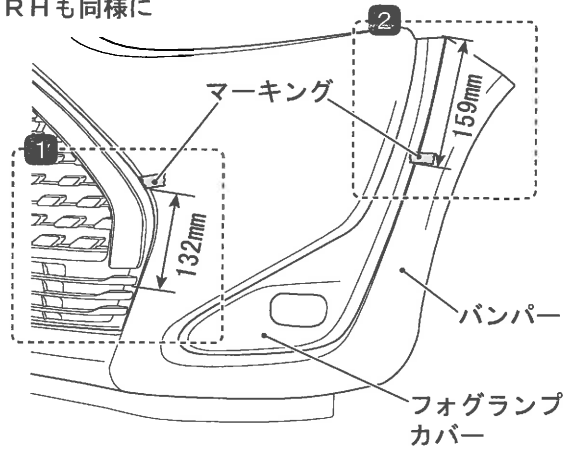
1. 牽引フックカバーを取り外す。
(左図参照)

アドバイス

- 牽引フックカバーを取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。
- 取り外した牽引フックカバーは再使用しますので紛失しないように注意して下さい。

(2) 仮組とプライマーの塗布

LH図示 ※RHも同様に



1

図 a [正面視]

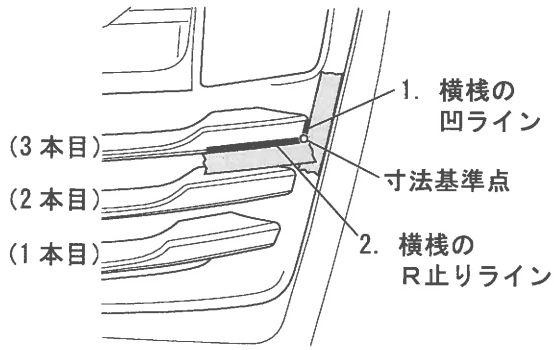
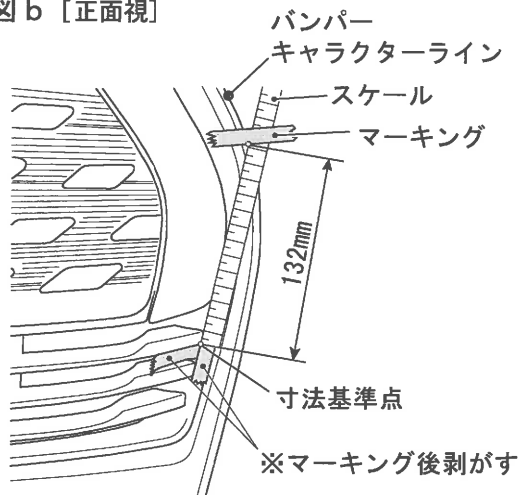


図 b [正面視]



1. ①フロントスポイラー（以下スポイラーと省略）取付位置 ①、②にマスキングテープ等でマーキングする。
(左図参照)

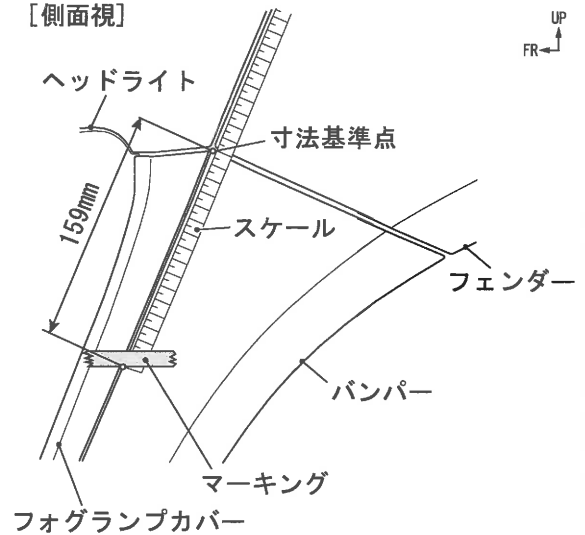
①: ロアグリル横棧、下から3本目にマスキングテープを貼り、基準点を作る。(左図 a 参照)
基準点からバンパーキャラクターライン上に直線距離132mm位置。
(左図 b 参照)

②: バンパーの末端を基準にバンパー表面に沿って159mm位置。

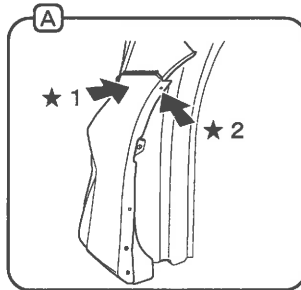
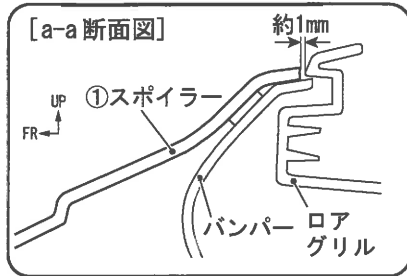
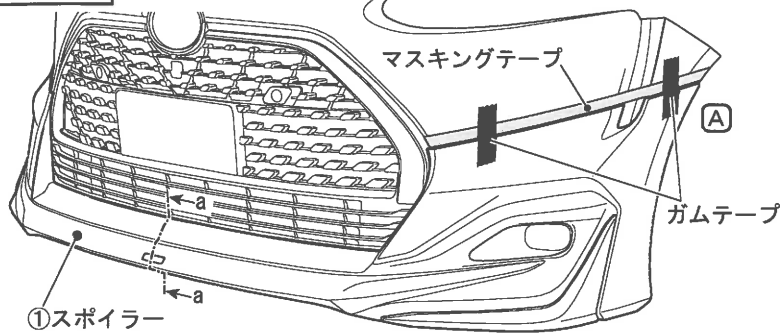
2. マーキング後、ロアグリルに貼り付けたマスキングテープを剥がす。
(左図 b 参照)

2

[側面視]

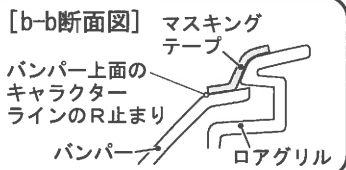
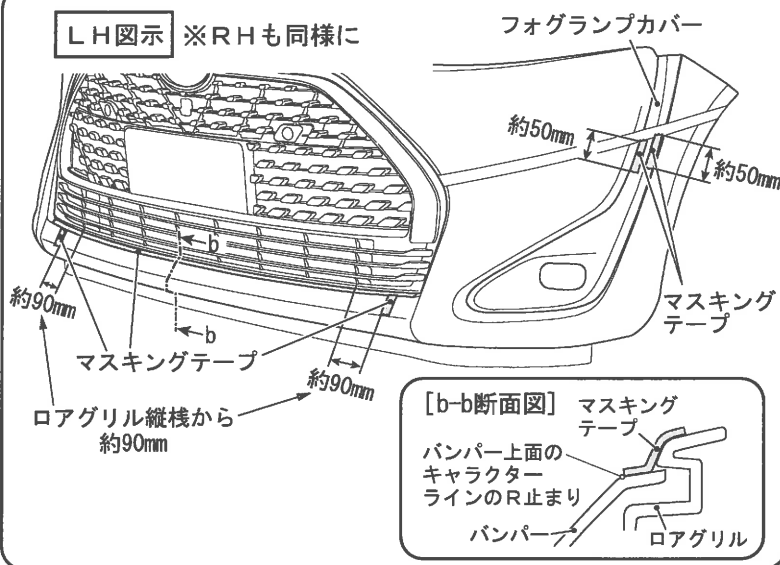


LH図示 ※RHも同様に



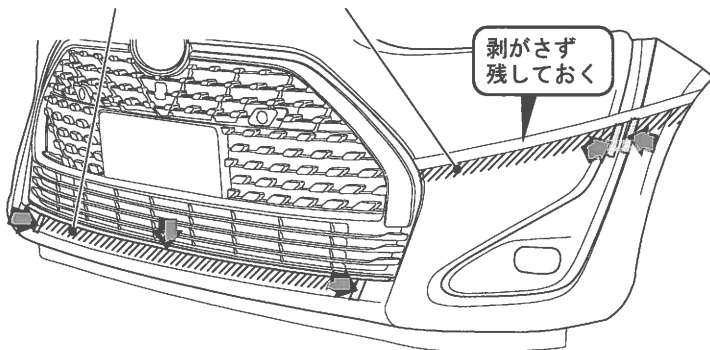
マスキングテープ貼り付け位置

LH図示 ※RHも同様に



LH図示 ※RHも同様に

脱脂及び⑥PAC プライマー N200
塗布範囲 (斜線部 約 30 mm均等幅)



↑で示す箇所のマスキングテープは
⑥PAC プライマー N200 塗布後剥がす

3. ①スポイラーをバンパーにかぶせ、エンドモール上端を①、②でマーキングした位置に合わせる。
左図(A)部★1→★2の順に押し、スポイラー裏面ゴムスペーサーとバンパーに隙間が無くなる様にし、ガムテープ等で仮固定をする。(左図参照)

4. ロアグリル部(a-a断面図)の隙間を一定(約1.0mm)にして、ガムテープ等で仮固定する。

5. 取り付け位置を決め、①スポイラー上端に合わせマスキングテープを貼り付ける。(左図参照)

6. ①スポイラーを一旦取り外す。⑥PACプライマーN-200を塗布する為にフォグランプカバーとバンパーにマスキングテープ(7箇所)を貼り付ける。
(左図マスキングテープ貼り付け位置参照)

7. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。

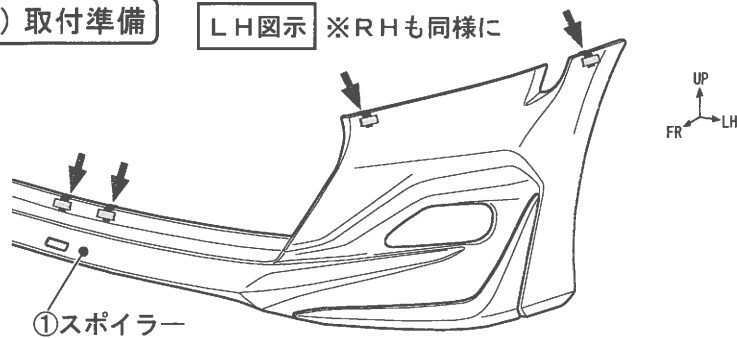
8. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑥PACプライマーN-200を塗布し、図示部のマスキングテープのみ残し、フォグランプカバーとバンパー(左図↑部)に貼り付けたマスキングテープ(7箇所)を剥がす。

アドバイス

- ⑥PACプライマーN-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ⑥PACプライマーN-200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(3) 取付準備

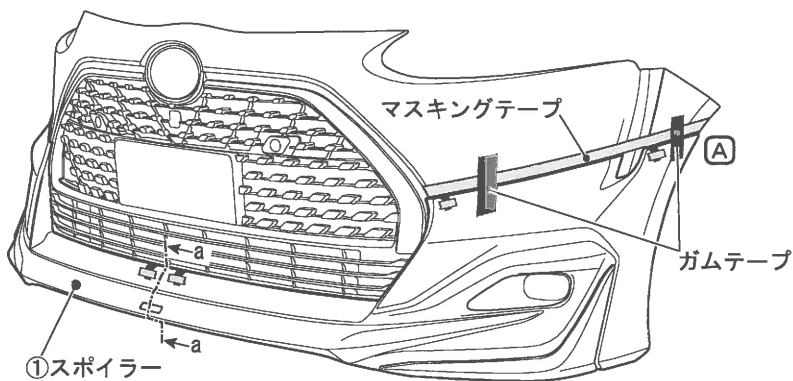
LH図示 ※RHも同様に



1. ①スポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(6箇所)

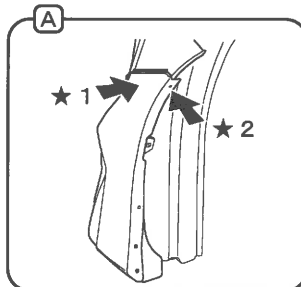
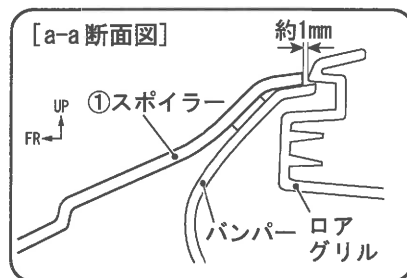
(4) 取り付け

LH図示 ※RHも同様に



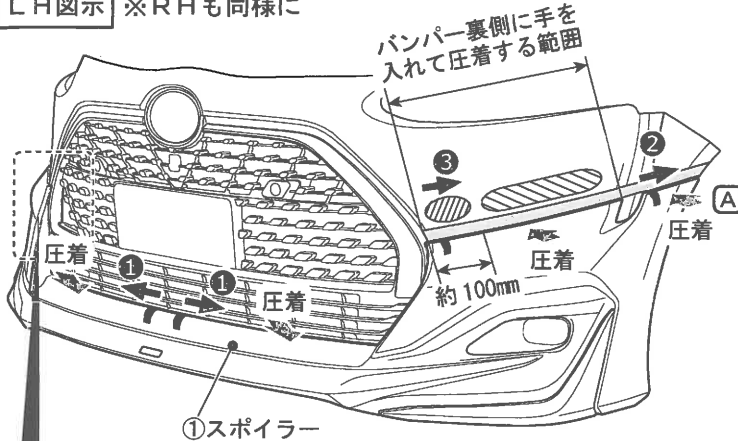
1. ①スポイラーをバンパーにかぶせ、モール上端を P4_5. で貼り付けたマスキングテープ下側に合わせる。
左図 (A) 部★1→★2の順に押して、スポイラー裏面ゴムスペーサーとバンパーに隙間が無くなる様にし、ガムテープ等で仮固定をする。(左図参照)

2. ロアグリル部 (a-a 断面図) の隙間を一定 (約 1.0mm) にして、ガムテープ等で仮固定する。



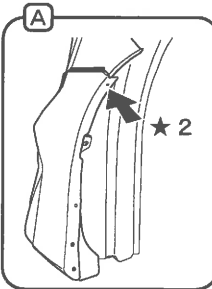
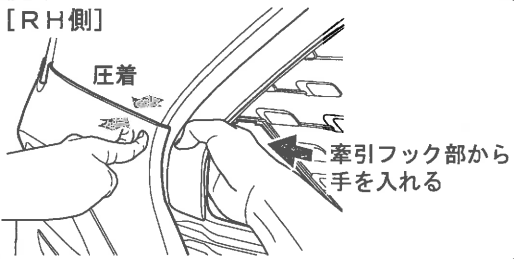
※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）

LH図示 ※RHも同様に

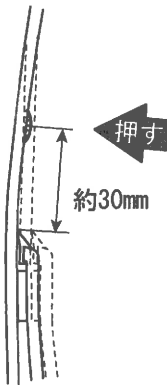


※A部★2を押さえながら
②を引き抜く。

[RH側]



接着の確認方法



バンパーを押してモールがバンパーに追従し、隙間が無ければ圧着されている事になります。隙間が出来てしまう場合は、圧着不足の為、再度圧着を行ってください。

3. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して、①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。（左図参照）

※②の離型紙を引き抜く際は、A部★2を押さえながら引き抜く。

※③の離型紙を引き抜く際は、まず100mm程度引き抜き圧着する。

- ・LH側：ボンネットを開け、エンジンルーム内ヘッドライトの後ろから手を入れ、バンパー裏側を押さえて挟み込む様に圧着する。
- ・RH側：牽引フック部から手を入れ、バンパー裏側を押さえて挟み込む様に圧着する。

圧着後、バンパー（斜線部）を押し、接着が出来ているかの確認をする。

（左図、接着の確認方法参照）

モールとバンパーに隙間が無い事を確認後、次の工程へ。

※LH側、RH側共に、③の残りの離型紙を引き抜き、エンジンルーム内ヘッドライトの後ろから手を入れ、バンパー裏側を押さえて挟み込む様に圧着する。圧着後、バンパー（斜線部）を押し、接着が出来ているかの確認をする。

（左図、接着の確認方法参照）

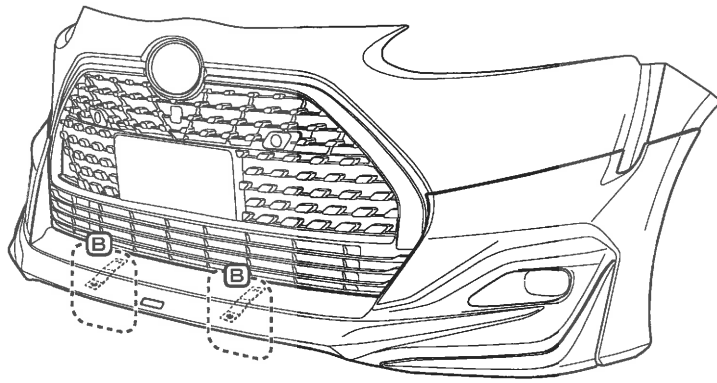
モールとバンパーに隙間が無い事を確認後、次の工程へ。

※離型紙を引き抜く際に、①スポイラーの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

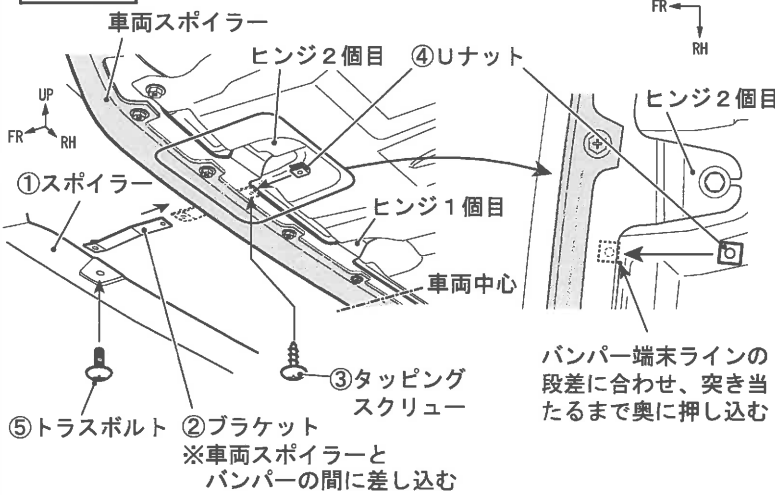
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①スポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、500kPa (5kgf/cm²) 程度の力で行って下さい。

4. 全てのマスキングテープを剥がす。

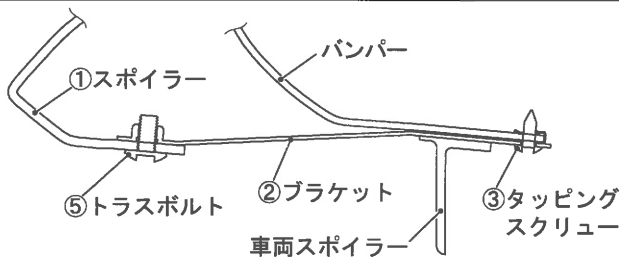


B

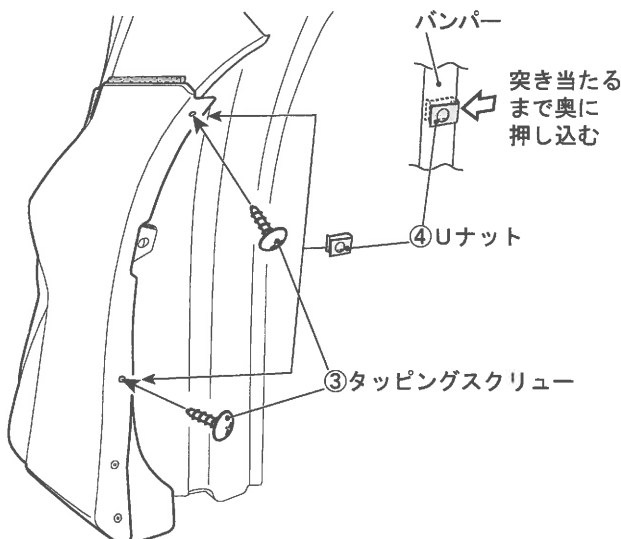
LH図示 ※RHも同様に



[断面図]



LH図示 ※RHも同様に



5. バンパー下面、車両中心から2個目のヒンジ部内側の付け根 (B部) に④Uナットを差し込む。

6. 車両スポイラーとバンパーの間に②ブラケットを通し、①スポイラー下面取付穴に⑤トラスボルトで仮締めする。
(2箇所)

7. 先に取り付けた④Uナットの位置と②ブラケットの穴位置を合わせる様に調整し③タッピングスクリューで仮固定する。
(2箇所)

👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

8. ④Uナットをフロントバンパーフェンダーアーチに差し込み、③タッピングスクリューで仮締めする。
(左右各2箇所)

👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

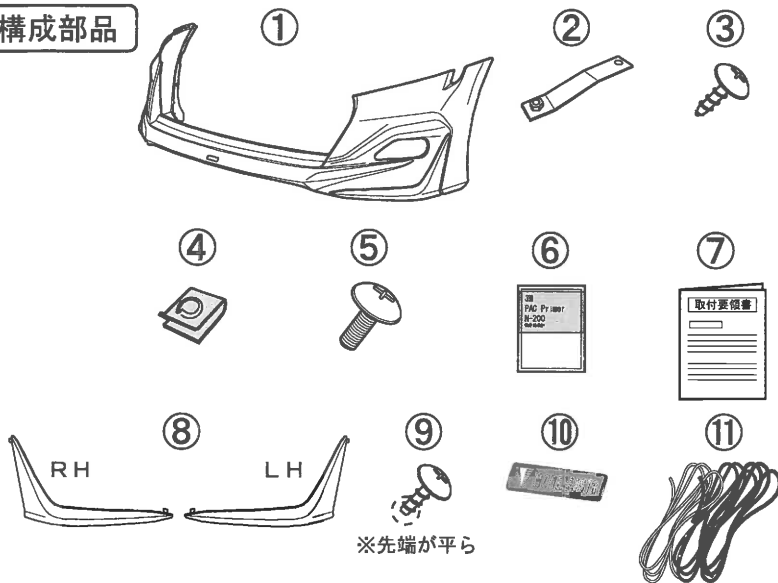
9. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

10. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。
(8箇所)

11. 取り外した牽引フックカバーを車両に取り付け、復元する。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	ブラケット (M50)	2
③	タッピングスクリュー (M4×12)	6
④	Uナット (M4)	10
⑤	トラスボルト (M6×12)	2
⑥	PACプライマー-N200	1
⑦	取付要領書	1
⑧	メッキパーツ	左右
⑨	Bタッピングスクリュー (M4×10)	4
⑩	エンブレム	1
⑪	エンドモール	Lグレー:1 グレー:1 ブラック:1

※④Uナット (M4) : 4個、⑧メッキパーツ、⑨Bタッピングスクリュー (M4×10) は、
①フロントスポイラーに仮固定されています。塗装前に外して下さい。

⑪エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
4X4	ヴァンテージブラウンパールクリスタルシャイン	ブラック
5B6	エアアイエロー	ライトグレー
6W9	ラディアントグリーンメタリック	ブラック
8T7	ブルーメタリック	ブラック

塗装作業

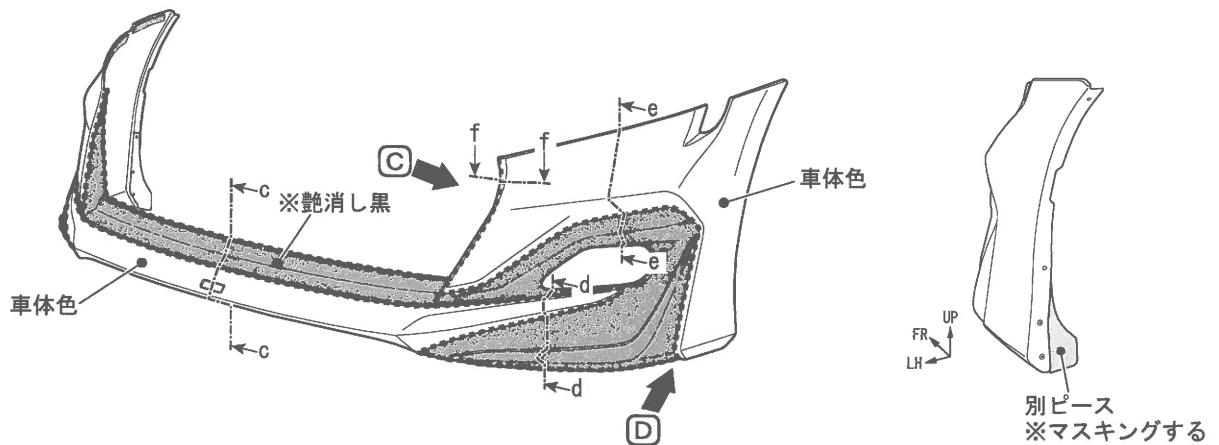
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は<ABS>です。

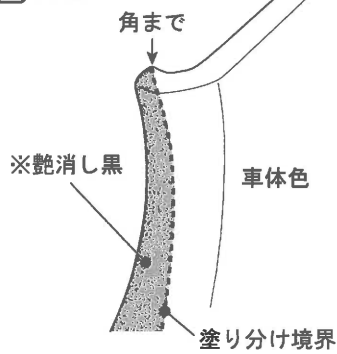
4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

LH図示 ※RHも同様に

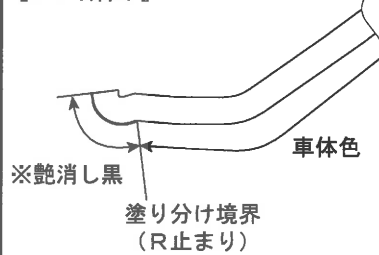
※塗装塗り分け範囲



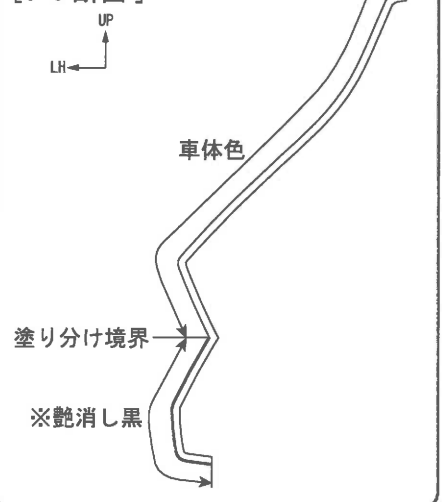
◎C 矢視



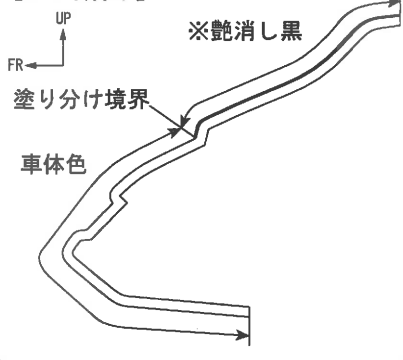
[f-f 断面]



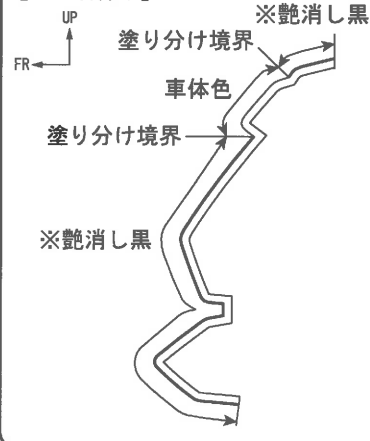
[e-e 断面]



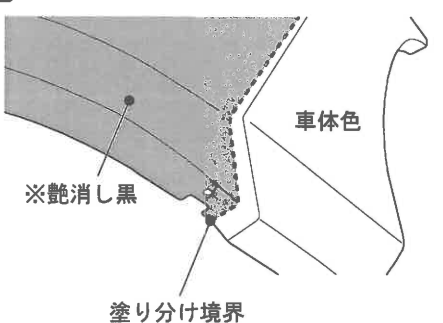
[c-c 断面]



[d-d 断面]

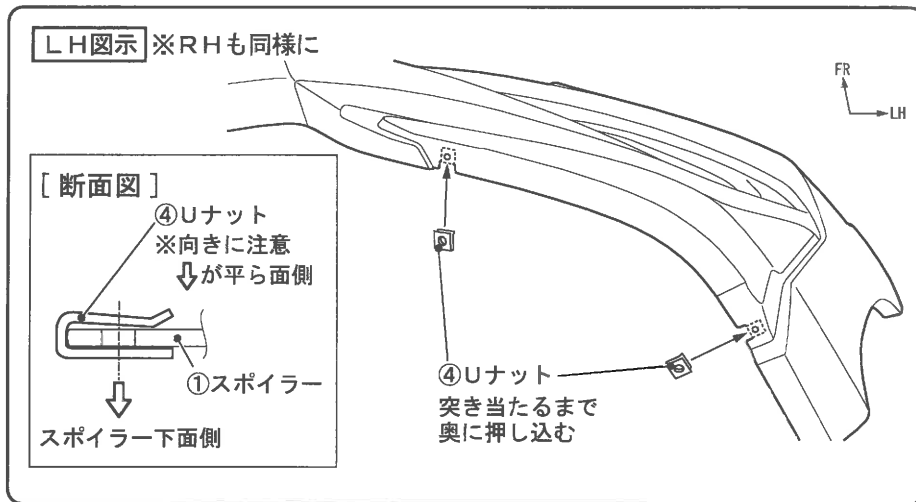
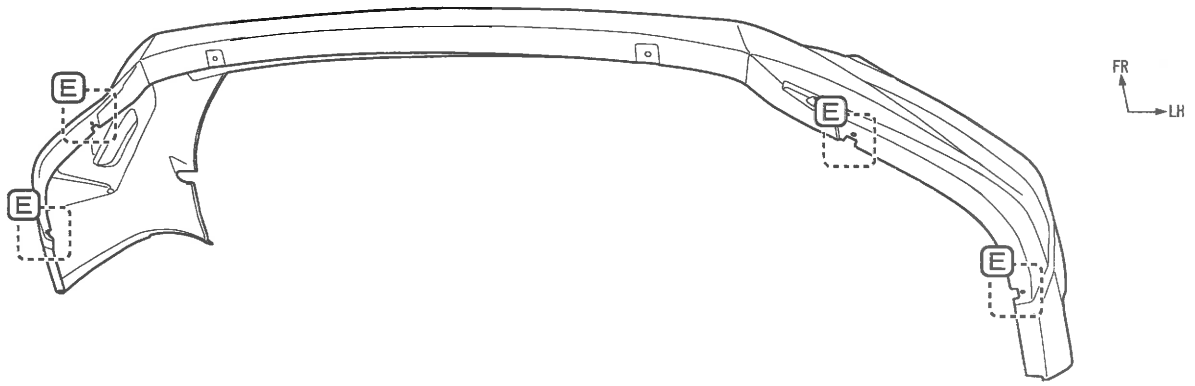


◎D 矢視



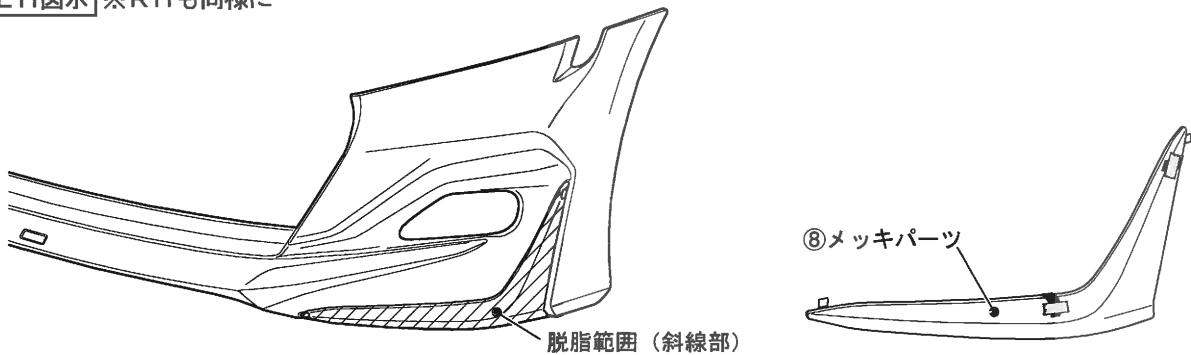
メッキパーツの貼り付け作業

1. 塗装完了後、①スポイラー下面の図示(E)部に④Uナットを差し込む。(4箇所)



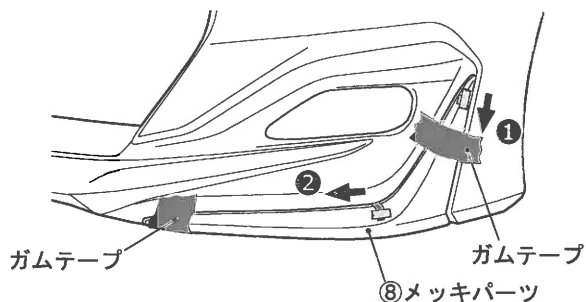
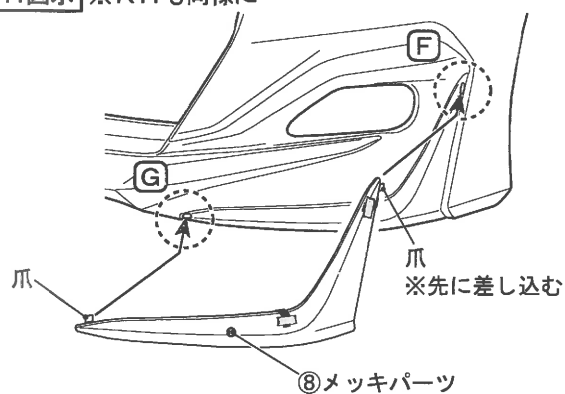
2. ⑧メッキパーツと①スポイラーの両面テープ貼り付け位置と形状を確認する。
 3. ⑧メッキパーツの貼り付け部の汚れ等を除去して、必ず脱脂する。
 4. ⑧メッキパーツの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

LH図示 ※RHも同様に



- ⑧メッキパーツの爪を①スポイラーの車両タイヤハウス側 (図F) の穴に先に差し込んでから、車両中央側 (図G) の穴に差し込む。⑧メッキパーツと①スポイラーの隙間が一定になる様に合わせ、ガムテープ等で仮固定する。
- 位置がズレない様に両面テープ離型紙を①から順に剥がし、必ず表と裏から圧着する。

LH図示 ※RHも同様に

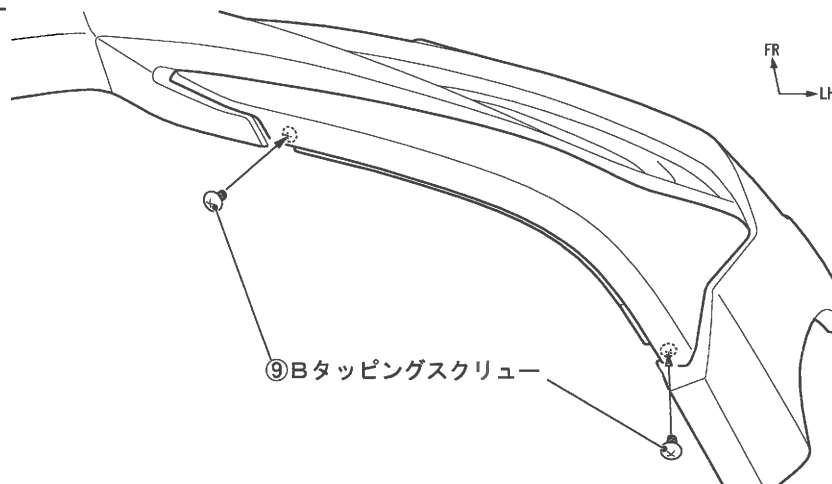


アドバイス

離型紙が途中で切れない様に、⑧メッキパーツを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。

- ⑧メッキパーツ下面の取付穴 (2箇所) に⑨Bタッピングスクリューで仮固定する。

LH図示 ※RHも同様に

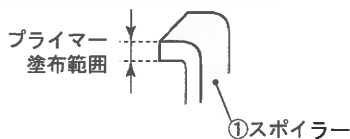


- 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。(4箇所)

エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑪エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑥PACプライマー-N200を塗布する。

PACプライマー-N200塗布範囲



アドバイス

- ・⑥PACプライマー-N200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑥PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ・⑥PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑪エンドモールを貼り付ける。

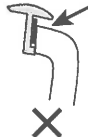
アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。

奥まで押し込む



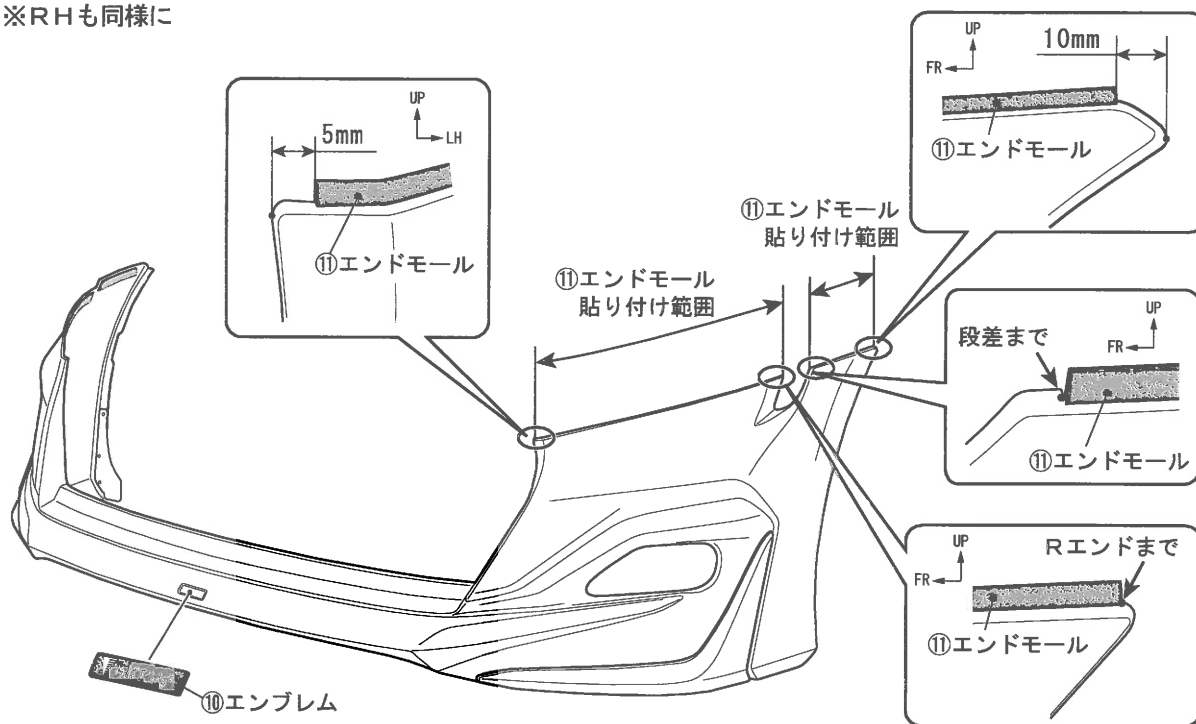
隙間が空いている



傾いている



LH図示 ※RHも同様に



3. ①スポイラー中央のエンブレム貼り付け部を脱脂し、⑩エンブレムを貼り付ける。

補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

LH図示 ※RHも同様に

